

## 指定管理評価表(社会体育施設)

平成31年3月31日現在

<b>施設概要</b>	社会体育施設(6地区体育館及び屋内プール) 開館時間:火曜日～土曜日9:00～21:00 日祝9:00～17:15(休館日:月曜日、年末年始) 施設設置目的:スポーツを愛好する市民に対するスポーツの実技指導、研修等を通してスポーツの推進を図るための施設として設置した。 事業内容:市民の健康づくり、スポーツ活動の場として、地区体育館を拠点とした各種事業を実施する。			
<b>指定管理者の名称</b>	公益財団法人 尼崎市スポーツ振興事業団			
<b>指定期間</b>	平成29年4月1日～令和4年3月31日			
<b>業務概要</b>	尼崎市立社会体育施設の管理・運営業務			
<b>利用状況等</b>	項目名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	健康づくり教室	89,935 人	98,641 人	97,467 人
	スポーツプラザ	53,131 人	54,026 人	54,508 人
	サルス教室	96,339 人	94,728 人	99,042 人
	サルススイミング教室	79,871 人	78,507 人	73,157 人
	屋内プール・一般開放	5,417 人	6,437 人	5,879 人
<b>所管課・所管課長名</b>	教育委員会事務局 社会教育部 スポーツ推進課 ・ 荻田 昭憲			
<b>評価対象期間</b>	平成30年4月1日～平成31年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 サービスの質の維持・向上</b>		<b>A</b>	PDCA実践シートと経営実績シートを基に事業の計画・改善を行い、サービス向上に努めている。利用者の掘り起こしは、無料体験チケットや近隣小学校へのポスター配布等を実施し、様々な広報を行っている。また、利用者のニーズを基にプログラムの見直しを図り、利用者とのパートナーシップを推進している。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
<b>2 適正な施設の管理</b>		<b>A</b>	設備は点検をかかさず、全館に緊急時マニュアル等が常備されている。職員内での責任体制は明確にされており、問題発生時は速やかに協議を行い情報共有ができる体制である。外部研修に派遣した際には、伝達講習を行うことで職員全体のスキルアップに努めている。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
<b>3 収支・経費節減</b>		<b>A</b>	支出の状況は適切かつ良好である。またLEDへの変更や各館同士の連絡に格安携帯電話を使用する等、経費削減の取組みがなされている。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか		
<b>4 指定管理者の経営状況等</b>		<b>A</b>	会計手続きは適切に行われており、監査においても指摘事項がない。財務諸表はホームページで公開されており、経営状況は良好である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
<b>5 その他</b>		<b>B</b>	文書番号や備品番号を付番し管理を行っている。経営実績シート等を基に内部評価が実施され業務の改善につながっている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・自主事業の開催(健康づくり教室、スポーツプラザ、サルススポーツ教室、サルススイミング等) ・貸館及びイベントの実施等	利用者アンケートを実施し利用者のニーズを把握したうえで、年齢や性別、居住地域に応じたプログラムの見直しを行っている。平成30年度から健康づくり教室及びスポーツプラザが指定管理者の自主事業となったが、他の事業と同様にPDCA実践シートや経営実績シートにより事業計画及び改善を行っている。また施設の利用促進や認知度向上のために、地域の事業への積極的な参加や、無料体験チケットを配布する等、様々な広報活動を行うことで、実際に無料体験を経て入講する利用者もおり、成果として表れている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
<b>A</b>	地域に根差したスポーツ施設として市民の健康増進及びスポーツ振興に寄与している。対象年齢や開講プログラムは多岐にわたっており、幅広い年代の方が利用できる。また課長級以上が出席する経営会議では、利用者数や経営状況等を整理し、現場での意見も踏まえながら事業の協議・検討を行っている。そのため各館での責任体制及び協力体制が整っており、今年度実際に起こった救命者の救助においても適切に対応できた。今後の課題としては、民間のスポーツ施設が増加する中で利用者の確保であり、そのためには職員の指導力や接遇といったソフト面のさらなる充実や、比較的用户数が少ない男性利用者が受講しやすいようなプログラムの充実が重要であるとする。

※ 評価は、A～Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1～5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。